

中東・アフリカの教員 28 名、日本の教育現場を視察

イラン、イラク、アフガニスタン、モーリタニアの 4 カ国から、国際交流基金が招へい

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、海外における日本理解および国内における異文化理解の促進と、各国の教育関係者間のネットワーク構築推進を目指し、中学校・高校の教員や教育行政官らを日本に招へいしています。この度、中東とアフリカの 4 カ国から合計 28 名が、2 週間の日程で日本に来日します。



滞在期間中、まず東京において日本の社会や教育制度についての導入研修を受けた後、広島・京都で伝統文化や歴史に触れ、さらに2チームに分かれて大阪府大阪市と長野県長野市を訪問します。

それぞれの訪問都市では、文化施設や文化遺産の視察、教育現場の実地体験、関係者との意見交換、子どもたちとの対話、一般家庭への訪問などが予定されています。

なおこの事業では、参加者各人が、事業参加によって得た経験・知識を自国の教育現場などにおいて還元することによって、次代を担う各国の青少年の日本理解と国際相互理解を促進するため、歴史・地理・政治・経済等を含む社会科、あるいは国際理解教育を担当する教員を中心に招へいしています。

招へい期間

2011年1月27日(木)~2月9日(水) 14日間
(2月1日~6日はチームごとに大阪および長野を訪問)

4カ国、28名の招へい国(人数)

イラン(10名)、イラク(10名)
アフガニスタン(6名)、モーリタニア(2名)



主な訪問先・予定

- 広島: 広島平和記念資料館(被爆者講話受講)
- 奈良・京都: 東大寺/二条城/平安神宮など
- 大阪: 大阪市教育委員会(教育長表敬、大阪市教育概説)/大阪市立御幣島小学校(授業参観・給食及び清掃見学)/大阪市立新北野中学校(授業参観、施設見学)/大阪市立西高等学校(参加教員による自国紹介、部活動参観)/大阪国際交流センター(ワンワールドフェスティバル見学)/大阪市立阿倍野防災センター(地震体験等)/大阪城/海遊館(水族館)/ホームステイ
- 長野: 長野県教育委員会(教育長表敬、長野県教育概説)/長野県稲荷山養護学校(施設見学・交流)/長野県長野工業高校(施設及びロボット等作品見学)/長野県長野西高等学校(参加教員による自国紹介、部活動体験)/長野県篠ノ井高等学校(授業見学・意見交換)/長野市立共和小学校(授業参観・給食体験)/長野市立川中島中学校(授業参観・部活動参観)/長野高等学校 ECC 生との討論/善光寺(高校生による英語案内)/ホームステイ

お問い合わせ 国際交流基金 文化事業部 生活文化チーム 琴屋清香・大岡寛子
電話: 03 - 5369 - 6060 FAX: 03 - 5369 - 6036 E-mail: secschedu@jpf.go.jp